

ぼくとミニトマトと夏

出雲市立湖陵小学校 四年 森山 雄太

ぼくは、ミニトマトが大好きです。かむと、

「じゃあ」とトマトのあまさとすっぱさが

口に伝わり、すごくおいしいです。だからた

くさん食べたくて、今年、ミニトマトを畑で

育てることにしました。以前、何度が育てた

うと、したけれど、毎日水をやることが面どう

くさくなったりお水足りして水をやらない

日があったので、からしてしまいました。今

年も水やりがちゃんとできるか心配だったけ

れど、今年こそはがんばって最後までせきに

んをもつてやろうと決意しました。

四月の終わりがそろそろホームセンターでミニ

トマトのなえを買い、お母さんと畑に植えま

した。植えるときは、

今年こそはちゃんと水やりをするから、元

気に育てねい。

と、声をかけました。

学校から帰ると、ぼくは毎日水やりを続け

ました。たまにちあれた日もあったけど、水
やりのたっせりりつは丸のパーセンをこえ
ていたと思います。少しずつ葉がのえて、大
きくなつてつぼみができ、黄色く小さな花が
咲きました。ぼくが水やりをしていていること
にミニトマトが応えてくれてるように感じ、
うれしく思いました。

一番大変だったのは、暑い中水やりをする
ことです。水やりを夕方にしていても、すこ
く暑いです。段にこなされてかゆかつたです。

でも、ぼくはがくばつて水やりを続けました。
やっ草をぬいてもすぐ生えてしまふので、
お母さんもいつしおにやっ草をぬいてく木ま
した。

夏が近づくと、ミニトマトはぐんぐん成長
していききました。びくりするほどの成長の
速さに、一人間も、こんなに大きくなるびて
たらいいなあーと思ひました。そして、
とうとうミニトマトが実をうけました。青い
実です。よくはるれを見て、一明日は赤くな

ているかなーと、この日に水やりをするのが楽しみにまりました。それからミニトマトが赤くなるのを楽しみに、暑さにも負けず、蚊にも負けず、水やりを続けました。

とうとうミニトマトが赤くなりました。そしてわたので、ぼくとお兄ちゃんとお母さんが食いました。いつもよりあまう感じました。自分で育てたミニトマトだと思おうと、食べるのがもったいなりと思いましたが、一口で食べた。ミニトマトは食べてしまっただけに

なくな、たけど、今まで水やりを続けたはずなのに、ミニトマトがぶえてくれたような気がして、へーありがとうーと、思いました。へーこれから水やりを続けるから、いっぱい実をつけよう、べの中で話しかけました。今度はお父さんにも食べさせてあげたいです。